



はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」
「これでよいのか」
「さあやるぞ」

「節目」を大切に

校長 関根 祐一

比較的暖かい日が続いておりましたが、ここへ来て急に冷え込みが強まり、校庭西側の農園や水車小屋付近にも霜柱が立ちました。真冬の景色です。一方、東側の正門付近の梅の木は小さな蕾をつけ始め、花壇の水仙の芽も伸びてきています。来る春の準備も同時に進んでいるようです。

79日の授業日があった二学期、日頃の教育活動はもとより、運動会や遠足等、大きな行事もありました。保護者の皆様・地域の皆様には、子供たちが安心して過ごせる学校環境の維持・整備、教育活動の充実に大きなご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、新型コロナウイルスの影響による制限が続く中であっても、日々の学びを通して、子供たちが努力を重ね友達と協力して目標達成に向かっていく逞しい姿を数多く見ることができました。今後も、子供一人一人が、できるようになる楽しさ、友達と力を合わせて活動する楽しさ、北小だからこそ体験できる楽しさを十分に感じることができるよう努めてまいります。

一学期末の学校便りでもお伝えしましたが、通知表「あゆみ」には、お子様の努力の成果があらわれています。良かった点を、大いに認め、達成感と自信を高めてあげてください。課題については、共に考え、温かい気持ちで励まして、やる気を高められるようにして欲しいと思います。よろしくお願いいたします。

さて、学校では年に3回、子供たちに学校生活について訊く「なかよしアンケート」を実施しています。2回目のアンケートを二学期のまとめへと向かう11月に実施し、子どもたちの支援に資しました。その中の「学校は楽しいですか」という設問については、全体で「楽しい」「どちらかといえば楽しい」の回答が約90%、「楽しくない」「どちらかといえば楽しくない」の回答が約10%という結果になりました。

今回のアンケートでも多くの子が「学校は楽しい」と回答しています。しかし反面では、「そうではない」という思いの回答も少なからずありました。一年間の学校生活の中でも、子供の成長の過程はそれぞれであり、壁に直面したり、ストレスを感じたりすることもあるでしょう。最も大事なものは、一人一人の“思い”。子供一人一人の「伸びたい」「向上したい」「なかよく学びたい」という願いを受け止め、応え、導いてあげられるようにしていきたいと、アンケートを通してあらためて強く思いました。そのためには、ご家庭と学校の連携、協働が極めて大事と考えています。学校から連絡させていただくこともございますが、ご家庭でお気づきのこと、ご質問、ご相談等ございましたら、日頃から気兼ねなくお知らせ、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。



東正門花壇の水仙
(十二月二十日)

まもなく、新しい年、令和5年を迎えようとしています。この、年が変わるという大きな“節目”を大切にしたいと思っています。年に一回のこの節目に、身の回りを整理し、4月にやってくるもう一つの大きな学年の節目までをより良くまとめられるように、そして新たな一年を前向きに切り拓いていけるように、心身ともに整えておきたいものです。そのうえでも、年末・年始の伝統的な行事は大変意義あるものと考えます。大掃除などに、是非、子どもたちを関わらせてあげてください。希望に満ちた新たな気持ちで新年のスタートを切ってほしいと願っています。

皆様におかれましては、素晴らしい年を迎えられますようご祈念申し上げます。